

## 第74回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第74回日本体力医学会大会は以下のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS) NO.6」一般発表抄録の原稿提出はすべて大会ホームページ上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、学会の最新情報は第74回大会ホームページ (<https://tairyoku74.jp/>) をご覧ください。

### 記

1. 会 期：2019年9月19日(木)、20日(金)、21日(土)
2. 会 場：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）
3. 大 会 長：田中 喜代次（筑波大学名誉教授）
4. 大会事務局：筑波大学体育系  
第74回日本体力医学会大会事務局  
事務局長：前田 清司  
〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1 総合研究棟D  
運営事務局：〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-2-4 第2・ISSEIビル3階  
株式会社JTB 茨城南支店  
Phone：029-860-2872 FAX：029-854-1664  
E-mail：mice-tsukuba@jtb.com
5. 大会プログラム（予定）
  - (1) 大会長講演
  - (2) 特別講演
  - (3) 教育講演
  - (4) シンポジウム
  - (5) ワークショップ
  - (6) 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
  - (7) 学会賞受賞講演
  - (8) ランチョンセミナー
  - (9) 県民・市民公開講座
  - (10) 持久走大会
  - (11) その他※英語セッションあり

# 参加登録方法

## 1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りいたします。

## 2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

## 3. 事前登録

### (1) 事前登録期間

2019年4月1日(月)～7月25日(木) 正午まで

### (2) 事前登録方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い登録を行って下さい。

第74回学会大会ホームページ：<https://tairyoku74.jp/>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意下さい。

### (3) 事前登録の参加費支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②銀行振り込み、のいずれかの方法でお支払い下さい。

### (4) 当日登録方法

事前登録をされていない会員、非会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

## シンポジウム募集のお知らせ

第74回日本体力医学会大会では、シンポジウムを会員より募集します。提案を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

### 【応募資格】

日本体力医学会会員

### 【応募方法】

#### 1. 応募申込書作成要項

シンポジウム応募申込書を、第74回学会大会ホームページ (<https://tairyoku74.jp/>) よりダウンロードし、Microsoft Wordで作成して下さい。

#### 2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、運営事務局 ([mice-tsukuba@jtb.com](mailto:mice-tsukuba@jtb.com)) 宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

#### 3. 締め切り

**2019年2月28日(木) 正午まで**

### 【選考方法】

第74回日本体力医学会プログラム委員会で審査し、選出いたします。

### 【結果通知】

選考結果は2019年3月28日(木) 正午までに通知いたします。

### 【注意事項】

応募者は会員に限られますが、座長・演者は非会員でも可とします。また、非会員の座長・演者に対しては学会参加費徴収をおこないません。なお、旅費・謝礼等に関しては、大会事務局では負担できませんので、予めご了承の上、ご応募ください。

# 演題応募方法

## 【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

### ●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階  
学会支援機構内

Phone：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

## 【登録方法】

演題登録開始：2019年4月1日(月) 正午から

締切：2019年5月18日(土) 正午まで

一般研究発表の演題登録の前に、大会への事前登録が必要です。

大会ホームページ上の該当ページにて事前登録を行い、参加費を支払った後、演題を登録してください。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。また、大会1日目の1会場では英語による口頭発表セッションを設ける予定です。希望される方は、発表言語で英語を選択してください。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ホームページ上の該当ページより案内に従って進めて下さい。事前登録を行った際、マイページ作成にて任意にて設定する“ログインID並びにパスワード”は、演題登録の変更と、後日の「JPFSM NO.6」掲載用抄録の登録に必要になりますので、忘れることのないようご注意下さい。

大会ホームページURL：<https://tairyoku74.jp/>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFSM NO.6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFSM NO.6」の掲載用抄録の登録期間

開始 2019年8月上旬（採択通知到着後から）

締切 2019年9月27日(金) 正午まで

締切を過ぎると「JPFSM NO.6」への抄録の掲載ができません。

## 【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) マイページ作成時に任意設定するログインID、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティの関係上応じられません。ログインIDとパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。

## 平成30年に査読をお願いした先生方は次の方々です

阿江通良	紙上啓太	辰田和佳子	松村勲
足立稔	木島章文	田中喜代次	眞鍋康子
綾部誠也	北岡祐	田中茂穂	丸山仁司
石田浩司	北濃成樹	田中憲子	三栖翔吾
石原健吾	北畠義典	田辺解	満園良一
石原美彦	工藤和俊	谷川聡	味八木茂
市橋則明	栗原俊之	田村好史	宮城修
稲葉優希	神野宏司	丹治史弥	宮崎充功
今中 國泰	後藤勝正	辻大士	向本敬洋
植木章三	坂井智明	得居雅人	村上晴香
上地広昭	坂本将基	徳山薫平	村永信吾
宇高潤	笹井浩行	中雄勇人	村山尚
浦辺幸夫	笹川俊	長島未央子	森嶋琢真
江口泰正	佐々木一茂	中田大貴	森本茂
榎本靖士	笹田周作	中田由夫	安永明智
大河原一憲	眞田樹義	長野真弓	山口太一
大久保善郎	佐保泰明	中本浩揮	山澤徳志
大藏倫博	澤田亨	難波秀行	山代幸哉
大槻毅	志賀充	長谷川夏輝	山田実
小笠原一生	重松良祐	畠中泰彦	山田陽介
小笠原準悦	杉崎範英	林容市	山津幸司
岡田英孝	鈴木宏哉	林陵平	吉村英一
尾縣貢	鈴木伸弥	原丈貴	若原卓
岡本孝信	鈴木俊明	原田和弘	和気秀文
沖田祐介	鈴木和弘	原田長	渡部厚一
垣花涉	清野諭	東田一彦	渡邊將司
笠次良爾	蘇リナ	引原有輝	渡辺賢
片山靖富	曾我部晋哉	藤澤宏幸	渡邊裕也
勝川史憲	高田雄一	一寸木洋平	
加藤雄一郎	高橋将記	町田修一	
加藤理津子	高林知也	松尾真吾	

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2018年9月）議事録

日 時：2018年9月6日(木) 午後5時30分～7時00分

場 所：福井県民ホール アオッサ6F 研修室602

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

西平賀昭、永富良一各副理事長、

碓井外幸常務理事、宇高 潤、大野 誠、

勝村俊仁、川原 貴、栗原 敏、後藤勝正、

坂本静男、下光輝一、須田和裕、須永美歌子、

武政 徹、竹森 重、田中喜代次、成田和穂、

前田清司、宮川俊平、和気秀文各理事、

井上 茂、清田 寛、小林康孝各監事、

戎 利光第73回大会長、

加藤総夫日本生理学会理事

欠席者：小野寺昇、田畑 泉、浜岡隆文各理事、

定本朋子監事、徳田修司第75回大会長候補

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録を理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

#### 2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者7名の氏名リストが提示され、承認された。

#### 3. 理事会開催日程について（鈴木理事長）

資料に基づき、今後の理事会日程案が提示され、以下の通り2019年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2018年11月16日(金)
- ・2019年2月15日(金)
- ・2019年5月17日(金)
- ・2019年8月30日(金)
- ・2019年9月18日(水) ※第74回茨城大会前日

#### 4. 南九州地方会（仮称）設立について（碓井業務執行役、鈴木理事長）

資料に基づき、南九州地方会（仮称）の設立について報告がなされた。

南九州地方会（熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）（仮称）の設立について、本学会評議員（井福裕俊、松永智、荻田 太、徳田修司）、遠藤洋志会員より熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県在住会員に設立趣意書が提出され、これを基に本学会理事長あてに設立承認依頼があったことが報告され、審議の結果、承認された。また、南九州地方会（仮称）の代表者として徳田修司評議員、事務局長として興谷謙吾会員が届け出られ、事務局所在地が報告された。また、全国地方会実行委員として南九州地方会を代表し、徳田修司評議員が報告され、承認された。8月24日の理事会において新設が承認された北九州地方会とともに設立準備金としてそれぞれ10万円を支給することが提案され、承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

・総務委員会（武政委員長）

シニア会員の新設について、シニア会員の条件として70歳以上、会員歴20年以上であることが挙げられているが、会員自身がシニア会員の条件を満たしているか否か分からない場合が想定されるので、一般的な定年年齢の65歳前の64歳位の会員に事務局又は総務委員会からお知らせする旨、報告された。

・編集委員会（田中委員長）

◎ジャーナルの発行、公開

1) JPFMSM: Vol. 7-4~8-3 (合計6号)

2) 体力科学: Vol. 67-4~68-3 (合計6号)

◎掲載論文数を増やす

[JPFMSM] [体力科学]: 特集を掲載する。

◎学会誌投稿におけるCOIマネジメントの策定と実施（利益相反委員会と共同）

◎「プライバシーポリシー」原案作成

◎「ACSM運動処方指針（原著第10版）」の翻訳本の出版

◎学術刊行物の編集

・プロジェクト研究委員会（須田委員長）

今年終了したプロジェクト研究の成果報告に関して、今年度終了するプロジェクト研究の中間報告を予定している旨、報告された。

・学会賞選考委員会（前田委員長）

第73回（福井）大会最終日（9月9日(日)）に、学会賞の表彰と受賞講演が行われる旨、報告された。

・評議員選考委員会（大野委員長）

資料に基づき、評議員申請書類（研究業績）の記載フォーム等の変更について、報告された。2018年度評議員選考後、選考委員より研究業績の記載において、記載に統一性がなくバラバラであったため審査しづらかったという意見が多数寄せられたため、研究業績の記載フォームを統一した旨、報告された。統一内容は、①体力科学の投稿規定に準拠して、すべて記載すること、②査読の有無に分けて原著論文を記載すること、とした旨、報告された。また、本学会ホームページの評議員申請要項において、「\*評議員選考内規に従って申請資格（I）を満たしていると思われる候補者については、申請手続きに必要な各書類（II）を締め切りまでに郵送してください。但し、書類の記載方法に不備が見られる場合には審査不能として返却する場合がありますので、必ず記載手順を遵守して作成し期限までに提出してください。」という文章を追記する旨、報告された。

・渉外委員会（永富委員長、須田日本スポーツ体育健康科学学術連合運営委員）

◎国際交流事業

1) 第73回日本体力医学会大会（福井）における国際交流事業

2) 第74回日本体力医学会大会（つくば）における国際交流事業

1. 国際シンポジウム



2. 国際セッション (ECSS 2018 Young Investigators Award Winners)

3) ECSS 2019 Prague 2019.7.3-6

ECSS-JSPFSM Exchange Symposium "Lactate/Pyruvate Metabolism in Skeletal Muscle: Energy Substrates and Beyond"

シンポジスト: 北岡 祐 (神奈川大学), 星野太佑 (電気通信大学), Henriette Pilegaard (University of Copenhagen)

4) 国際学術交流奨励賞

◎国内関連学術団体との交流・連携

1) 脳心血管病予防に関する包括的管理チャートの改訂 (ガイドライン検討委員会と共同)

2) 東京オリンピック・パラリンピック関連学会への協力

国際会議の開催予定日: 2020年9月8日~12日

会場: パシフィコ横浜 (横浜国際平和会議場)

◎日本体力医学会の活動の国内外に対する見える化広報委員会と連携

◎渉外副委員長の任命

宮下政司評議員, 和気秀文評議員

・FAOPS2019運営委員会 (和気委員長)

FAOPS2019 (第9回アジア-オセアニア生理学会大会) について, 本学会会員への周知を今回の第73回 (福井) 大会から徹底する旨, 報告された。

・広報委員会 (須永委員長)

本学会ホームページにおいて, 本学会員にとって情報がより見やすく, 伝わりやすくするための改善点があれば, 意見を寄せて欲しいとの依頼がなされた。

・利益相反委員会 (永富委員長)

第2回日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) ならびに日本医学会分科会利益相反会議合同シンポジウムが11月6日に日本医師会館にて開催されるが, 後藤編集副委員長が出席することになった旨, 報告された。

・全国地方会実行委員会 (竹森委員長)

地方会の問題を吸い上げる中で, 学会本部とのやり取りが複雑化しているという問題が出たため, 今後のやり取りについて整理した旨, 地方会を包含する地域で開催される学会年次大会のサポートの在り方について情報交換した旨, 報告された。

## 2. 第74回 (茨城) 大会の進捗状況

(田中第74回大会長, 前田第74回大会事務局長)

資料に基づき, 大会の準備状況等について, 報告された。つくば (関東) での開催で参加者数の増加が見込めるため, 盛大に大会を開催し会員数の増加と論文投稿数の増加につなげる重要なポイントとして第74回 (茨城) 大会を位置付けたい旨, 報告された。また, 5月18日の理事会時に鈴木理事長より配布された別刷り "日本体力医学の源流と変遷" および "日本体力医

学会と「体力科学」誌の生い立ちとあゆみ" を大会関係者に配布し, 国民体育大会と本学会との結びつきを説明の上, 協力資金を募り, つくば市や県関連観光協会, 民間から協力が得られたことが報告された。なお, 今回の第73回 (福井) 大会時に本理事会で配布された, 第74回 (茨城) 大会に関するチラシ, 会場パンフレット, つくば市や茨城県の観光案内パンフレットを400部配布する予定である旨, 報告された。

会 期: 2019年9月19日 (木) ~21日 (土)

会 場: つくば国際会議場

テーマ: 元気な人と社会を育むスポーツ医学の挑戦

## 3. 第75回 (鹿児島) 大会の進捗状況 (鈴木理事長)

大会の準備状況等について, 今回の第73回 (福井) 大会の社員総会時に徳田大会長候補より説明される旨, 報告された。

会 期: 2020年9月24日 (木) ~26日 (土)

会 場: 鹿児島大学 (共通教育センター, 稲盛会館)

## 4. その他

FAOPS2019開催について (加藤総夫日本生理学会理事)

FAOPS2019 (第9回アジア-オセアニア生理学会大会) 開催について説明された。一般演題の応募 (10月2日締切) や参加について, 本学会会員への周知をお願いしたい旨, 依頼された。

会 期: 2019年3月28日 (木) ~31日 (日)

会 場: 神戸国際会議場

◎日本生理学会

(日本体力医学会合同シンポジウムの企画)

テーマ: Cutting-edge research topics on skeletal muscle plasticity in health and diseases

座長: Katsumasa Goto (Toyohashi SOZO University, Japan), Gordon S. Lynch (The University of Melbourne, Australia)

演者: Nobuharu L. Fujii (Tokyo Metropolitan University, Japan), Shuichi Machida (Juntendo University, Japan), Gordon S. Lynch (The University of Melbourne, Australia)

(他1名予定)

◎日本生理学会

(日本体力医学会共催特別講演の企画)

テーマ: 「世界の頂点を極めるスポーツ科学」

演者: 小平奈緒 (社会医療法人財団慈泉会相澤病院スポーツ障害予防治療センター, 2018年平昌オリンピックスピードスケート金メダリスト), 結城匡啓 (信州大学教育学部, 日本スケート連盟ナショナルコーチ)

日時: 2019年3月30日 18:10~

場所: 神戸国際会議場 (FAOPS2019 A会場)

## 一般社団法人日本体力医学会 平成30年度評議員会 議事録

日 時：2018年9月8日(土)

午後1時20分～午後2時20分

場 所：福井県民ホール アオッサ8階 A会場

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登, 西平賀昭, 永富良一,  
 碓井外幸, 大野 誠, 小野寺昇,  
 坂本静男, 下光輝一, 須田和裕,  
 武政 徹, 竹森 重, 田中喜代次,  
 成田和穂, 前田清司, 宮川俊平,  
 和気秀文各理事, 清田 寛監事

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち、下記の項目について報告され、承認された。

- ・ 戎 利光大会長より、挨拶と第73回(福井)大会概要の報告がなされた。
- ・ 評議員総数546名の内、委任状提出者265名で、午後1時15分現在の評議員会出席者184名で、評議員総数の過半数274名を超えており、評議員会開催が成立することが確認された。

### 【審議事項】

#### 1. 平成30年度庶務報告に関する件(武政総務委員長)

##### 1) 会員総数4,225名(2018年7月31日現在)

名誉会員	33名
正会員	4,176名
外国会員	11名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 鶴岡印刷株式会社, 公益財団法人明治安田厚生事業団, 大塚製薬株式会社, 大正製薬株式会社

##### 2) 役員数

評議員	546名
(内) 医師	88名
(内) 非医師	458名
理事	25名
監事	4名

##### 3) 購読数 129団体

体力科学	123団体
JPFMS	6団体

##### 4) 年度内入退会状況

新入会員	297名
退会者	395名
(内) 申込者	164名
自然退会	231名

#### 2. 平成30年度事業報告に関する件

以下のとおり平成30年度事業報告について報告がなされた。

##### 1) 事業期間

2017年8月1日～2018年7月31日

##### 2) 委員会活動

- ・ 総務委員会(武政委員長)
- ◎本学会の庶務に関する事項

日本体力医学会シニア会員の新設、それに伴う定款/細則の変更

理事候補, 評議員会長候補及び監事候補の選出等に関わる定款/細則の変更

役員を選出に関する規程の変更

##### ◎学会大会長に関する事項

第76回大会(三重)の大会長候補者の検討(未決定)

##### ・編集委員会(田中委員長)

◎学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS)」

Vol. 6のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 7のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 66のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 67のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

##### ◎JPFMS掲載論文リストのメール配信

◎投稿規定改訂(2017.9.17)

「体力科学」「JPFMS」の掲載料改定

##### ◎JPFMSオリジナルWebsiteの運用開始

(2017.9.28)

Online Firstの掲載

##### ◎J-STAGE新画面インターフェース切替完了

(2017.11.25)

##### ◎ジャーナルの活性化対策の検討

(1) 「特集号」の企画

注目されているホットスポットに焦点を当てた「特集号」を掲載

「体力科学」Vol. 67, No. 2

第1回特集：がん：検診, ケア, 予防, 運動習慣化の意義を考える 7編掲載

「体力科学」Vol. 67, No. 5

第2回特集：エネルギー代謝 6編掲載予定  
「JPFMS」Vol. 7, No. 4

第1回特集：Aging and Skeletal Muscle Atrophy 4編掲載

※第2回計画中

(2) 第73回大会での教育セッションの開催

JPFMSおよび体力科学の編集方針と論文執筆のポイント①

##### ◎編集業務における収支改善策の検討

(1) 論文掲載料の改定

(2) 地方会抄録の掲載料改定案の検討

##### ◎編集委員の増員

2名増員(3名新任, 1名退任)

##### ◎委員会開催(2017.9.15) 南江堂と打ち合わせ

◎投稿規程「論文投稿時のCOIの取り扱い」策定(利益相反委員会と共同)

##### ◎「プライバシーポリシー」原案作成

・学術委員会(碓井委員長)



- ・スポーツ医学研修会実行委員会(碓井称号委員長)
  - ◎平成30年度(第29回)スポーツ医学研修会
    - (1) 基礎コース(平成30年6月30~7月1日, 於日本体育大学)
      - 参加者: 41名(内, 欠席者3名含)
    - ※(2) 応用コース(平成30年8月3~4日, 於日本体育大学)
      - 参加者: 34名(内, 欠席者4名含)
    - ※修了試験(受験者: 20名 平成30年8月5日, 於日本体育大学)
  - ・称号委員会(碓井委員長)
    - 「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」申請時に審査(委員会)→承認(理事会)→報告(総会)
  - ・プロジェクト研究委員会(須田委員長)
    - 平成28年度まで行っていた日本体力医学会プロジェクト研究の公募は平成29年度から行わないことになった.
    - 平成28年度に採択されたプロジェクト研究が進行中である.
  - ・学会賞選考委員会(前田委員長)
    - 第31回日本体力医学会賞候補の選考を行った.
  - ・ガイドライン検討委員会(勝村委員長)
    - 特に報告事項はない.
  - ・財務委員会(宮川委員長)
    - 平成31年度予算案の作成と予算の適切な執行の確認.
  - ・評議員選考委員会(大野委員長)
    - 評議員候補者申請書をもとに平成30年度の評議員選考を行い, 理事会, 評議員会兼社員総会に諮った.
  - ・渉外委員会(永富委員長)
    - ◎国際交流事業
      - (1) 第72回日本体力医学会大会(愛媛)における国際交流事業
        - 日蘭スポーツ科学交流事業
        - 平成29年9月17日 9:00-10:30
        - 国際交流シンポジウム「スポーツ障害予防の最前線」
        - 座長 永富良一(東北大学), 篠原純司(九州共立大学)
        - シンポジスト: 福典之(順天堂大学), 下河内洋平(大阪体育大学), DirkJan Veeger(デルフト工科大学/アムステルダム自由大学)
      - (2) ECSS 2018 Dublin 2018.7.4-7
        - ECSS-JSPFSM Exchange Symposium “Skeletal muscle as an endocrine organ -20 years of myokines”
        - シンポジスト: 古市泰郎(首都大学東京), 相澤勝治(専修大学), Bente Pedersen(University of Copenhagen)
      - (3) 国際学術交流奨励賞
    - ◎国内関連学術団体との交流・連携
      - (1) 脳心血管病予防に関する包括的管理チャートの改訂
      - (2) 日本生理学会との連携
        - 日本生理学会大会
        - (高松市2018年3月28~30日)
        - 日本生理学会・体力医学会合同シンポジウム「情動や行動を支える中枢性循環調節機構」
        - シンポジスト: 和気秀文(順天堂大学), 浅原亮太(広島大学), 山中航(順天堂大学)
      - (3) 日本抗加齢医学会との連携
        - 第18回日本抗加齢医学会総会(大阪2018/5/25-27)
        - 日本体力医学会共催シンポジウム2018「骨格筋を中心とした臓器・組織の連関について」
        - シンポジスト: 石井好二郎(同志社大学), 勝川史憲(慶応大学), 林直亨(東京工業大学), 家光素行(立命館大学), 渡邊裕也(同志社大学)
    - ・FAOPS2019運営委員会(和気委員長)
      - ◎日本体力医学会会員への広報活動
        - <https://www.nips.ac.jp/faops2019/index.html>
      - ◎日本生理学会(日本体力医学会合同シンポジウムの企画)
        - テーマ: Cutting-edge research topics on skeletal muscle plasticity in health and diseases
        - 座長: Katsumasa Goto (Toyohashi SOZO University, Japan), Gordon S. Lynch (The University of Melbourne, Australia)
        - 演者: Nobuharu L Fujii (Tokyo Metropolitan University, Japan), Shuichi Machida (Juntendo University, Japan), Gordon S. Lynch (The University of Melbourne, Australia) (他1名予定)
      - ◎日本生理学会(日本体力医学会共催特別講演の企画)
        - テーマ: 「世界の頂点を極めるスポーツ科学」
        - 演者: 小平奈緒(社会医療法人財団慈泉会相澤病院スポーツ障害予防治療センター, 2018年平昌オリンピックスピードスケート金メダリスト), 結城匡啓(信州大学教育学部, 日本スケート連盟ナショナルコーチ)
    - ・倫理委員会(成田委員長)
      - 倫理審査委員会が設置されていない機関に所属する会員からの研究倫理審査の受付を開始
    - ・広報委員会(須永委員長)
      - 学会ホームページの管理, 運営
    - ・男女共同参画推進委員会(須田委員長)
      - 男女共同参画に関する情報収集に努めた.
    - ・利益相反委員会(永富委員長)
      - ◎体力科学, JPFISMの投稿規定におけるCOI開示項目を編集委員会と協力して検討した.
      - ◎日本体力医学会大会におけるCOI開示の方法について情報収集した.
      - ◎上記計画を遂行するため, メール会議を数回開催した.
    - ・全国地方会実行委員会(竹森委員長)
      - ◎非会員の地方会発表抄録を体力科学誌に掲載する際の掲載料の扱いについての意見の取りまとめ

## ◎北九州地方会と南九州地方会の新設

## 【北九州地方会】

(福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県)

地方会代表: 熊谷秋三

事務局長: 増本賢治

事務局所在地:

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1

九州大学人間環境学研究院

TEL: 092-583-7855, FAX: 092-582-7855

E-mail: masumoto@ihs.kyushu-u.ac.jp

## 【南九州地方会】

(熊本県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県)

地方会代表: 徳田修司

事務局長: 與谷謙吾

事務局所在地:

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学体育学部スポーツ生命科学系

TEL: 0994-46-4934

E-mail: yotani@nifs-k.ac.jp

## ◎全国地方会実行委員の任命

山津幸司(北九州地方会), 徳田修司(南九州地方会)

## 3) 第72回日本体力医学会大会(愛媛)の実施

大会長: 三浦裕正(愛媛大学医学部附属病院長, 愛媛大学医学部整形外科)

会期: 2017年9月16日(土)~18日(月)

会場: 松山大学文京キャンパス

テーマ: 愛顔でつなぐ体力医学

~いで湯と城と文学の街で再考する~

## 4) 平成31年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®

称号認定者(碓井称号委員長)

以下のとおり, 平成31年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者が報告された。

・新規 5名(第28回研修会)

市原敬司 江原恭介 落合 香

北村拓也 星野太佑

・新規 6名(第29回研修会)

小関信行 齋藤英明 瀬川真衣

西村典芳 藤野英己 丸 和史

・継続 23名

石井宏明 石垣華奈 石山育朗

伊藤克則 伊藤清二 大河原仁美

太田宣康 大野政人 上出杏里

國岡義広 清水智美 関 健

高橋清美 田村由馬 夏井裕明

畑山元政 原 哲夫 藤野雅広

藤原敬且 松谷昌典 三橋敏武

山口秀明 吉村敏子

・終身 5名

伊佐地 隆 笠師久美子 小山 薫

重川敬三 山本好弘

## 3. 平成30年度会計(決算)に関する件

(宮川委員長, 鈴木理事長)

以下のとおり, 平成30年度会計(決算)についての報告がなされた。

収入の部 会費収入決算額は41,020,672円となった。論文掲載料等収入予算額は1,200,000円だったが, 決算額は倍以上の2,695,536円となった。投稿論文数が増加したことによる。平成30年度収入決算額は84,879,239円となり, 平成30年度収入予算額より3,608,239円増額となった。

支出の部 称号運営費が増加しているが, 学会支援機構の平成29年度業務委託費の請求漏れがあったため, この額を平成30年度決算に含め, 今回2年度分の請求となったことによる旨, 報告された。また, 論文投稿数が増加したことにより投稿管理費が増加している件が加えられた。平成30年度支出決算額は85,633,362円となった。

\*平成30年度収入決算額84,879,239円, 支出決算額85,633,362円であり, 実質754,123円の不足(赤字)に留まった。

平成29年度は別途積立金取崩収入を加えることによって収支バランスがとれたが, 平成30年度の収支決算は別途積立金を取り崩さずに, 754,123円の赤字に留めることが出来た。また, 貸借対照表の正味財産(日本体力医学会の内部留保財産=貯蓄額)が前年度は93,827,401円であったが, 当年度は94,308,563円となり, 481,162円の増加となった。これは, プロジェクト研究廃止や鶴岡印刷による学会誌の印刷費削減協力などによる効果である旨, 報告された。

当年度収支としては754,123円の赤字となった旨, 報告があった。本決算については清田監事より, 公認会計士によりチェックが行われた事が併せて報告があり, 引き続き, 監査報告が行われた。

## 4. 平成31年度事業計画に関する件(武政総務委員長)

以下のとおり平成31年度事業計画についての報告がなされた。

## 1) 事業期間

2018年8月1日~2019年7月31日

## 2) 委員会活動

・総務委員会(武政委員長)

◎第76回三重大会の大会長の推薦

◎学会総務に関わる規則の見直し

・編集委員会(田中委員長)

◎ジャーナルの発行, 公開

JPFMSM: Vol. 7-4~8-3(合計6号)

体力科学: Vol. 67-4~68-3(合計6号)

◎掲載論文数を増やす

[JPFMSM][体力科学]: 特集を掲載する。

◎学会誌投稿におけるCOIマネジメントの策定と実施

◎「ACSM運動処方指針(原著第10版)」の翻訳本の出版

◎学術刊行物の編集

・学術委員会(碓井委員長)

・スポーツ医学研修会実行委員会(碓井称号委員長) 第30回スポーツ医学研修会(於日体大)の実施(学会HP・体力科学に案内を掲載)

- テキストの改定版発行
- ・称号委員会（碓井委員長）  
日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請により実施
  - ・プロジェクト研究委員会（須田委員長）  
研究成果の第73回日本体力医学会大会（福井）での報告
  - ・ガイドライン検討委員会（勝村委員長）  
「少子高齢化」が進行し大きな社会問題となっているわが国における、「健康寿命の延伸」を目指した活動なども視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、東京オリンピック2020を視野に入れた、競技スポーツにおける安全対策についても検討してゆく。
  - ・財務委員会（宮川委員長）  
平成32年度予算案の作成
  - ・評議員選考委員会（大野委員長）  
大会前の機関誌に従前通り、評議員推薦のためのレジメを入れ、平成28年度に改定された評議員申請要項に対する周知をはかり、多くの会員に評議員推薦を促し評議員数の増加を目指す。
  - ・渉外委員会（永富委員長）  
◎国際交流事業
    - (1) 第73回日本体力医学会大会（福井）における国際交流事業
    - (2) 第74回日本体力医学会大会（つくば）における国際交流事業
      1. 国際シンポジウム
      2. 国際セッション（ECSS 2018 Young Investigators Award Winners）
    - (3) ECSS 2019 Prague 2019.7.3-6  
ECSS-JSPFSM Exchange Symposium “Lactate/Pyruvate Metabolism in Skeletal Muscle: Energy Substrates and Beyond”  
シンポジスト：北岡 祐（神奈川大学）、星野太佑（電気通信大学）、Henriette Pilegaard（University of Copenhagen）
    - (4) 国際学術交流奨励賞
  - ◎国内関連学術団体との交流・連携
    - (1) 脳心血管病予防に関する包括的管理チャートの改訂
    - (2) 東京オリンピック・パラリンピック関連学会への協力
  - ◎日本体力医学会の活動の国内外に対する見える化広報委員会と連携
  - ・FAOPS2019運営委員会（和気委員長）  
第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会（FAOPS2019）を後援し、日本生理学会と合同シンポジウムを開催する
  - ・倫理委員会（成田委員長）  
◎研究倫理審査事業の実施  
◎学会発表、論文発表における倫理規定遵守の推進と監視
  - ・広報委員会（須永委員長）  
ホームページの充実、その他本学会に関わる事項

の広報活動

- ・男女共同参画推進委員会（須田委員長）  
男女共同参画に関する情報収集に努める
- ・利益相反委員会（永富委員長）  
◎体力科学、JPFMSの投稿規定におけるCOI開示項目を編集委員会と協力して検討  
◎日本体力医学会大会におけるCOI開示の方法の検討  
◎策定から4年が経過した「利益相反（COI）に関する運用指針」の加筆、修正の必要性を検討  
上記、計画を遂行するため、メール会議に加え、面会会議を年度中に最低1回開催する
- ・全国地方会実行委員会（竹森委員長）  
◎学会本部と地方会間の連絡と対応すべき問題の吸い上げ  
◎低会員密度地域（特に地方会空白地域）の体力医科学活動（大会開催を含む）支援の調整

#### 5. 平成31年度会計報告（予算）に関する件（宮川委員長）

以下のとおり、平成31年度会計報告（予算）についての報告がなされた。

収入の部：会費収入において、シニア会員の新設を想定し70歳以上、会員歴20年以上を満たす正会員115名を想定し収入として計上している。この他は前年度と比べ特に差異はなく、平成31年度予算案として収入は79,154,000円、前年度繰越金が70,434,395円となっており、合計149,588,395円が収入合計となる見込みである旨、報告された。

支出の部：各種委員会からの事業計画を基に計上し、前年度と比べ特に差異はなく、平成31年度予算案として支出は79,539,852円、次年度繰越金が70,048,543円となっており、合計149,588,395円が支出合計となる見込みである旨、報告された。

当年度収支差額は、385,852円の赤字の見込みである旨、報告された。

#### 6. 評議員推薦に関する件（下光評議員会長）

平成30年度評議員推薦に関して、評議員選考委員会にて評議員選考規定に従って審査を行い、その結果16名の候補者が評議員資格を有するとの報告に基づき、本評議員会において承認された。

新評議員（16名）

薄井澄誉子	笠次良爾	蕪木智子
賀屋光晴	菊池直樹	近藤浩代
坂本将基	佐藤幸治	芝口翼
膳法亜沙子	仲立貴	中島早苗
西脇雅人	林容市	藤野雅広
向本敬洋		

#### 7. 第74回日本体力医学会大会（茨城）開催について（田中喜代次第74回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：田中喜代次（筑波大学体育系大学院人間総合科学研究科教授）



会 期：2019年9月19日(木)～21日(土)  
 会 場：つくば国際会議場  
 テーマ：元気な人と社会をはぐくむスポーツ医科学の  
 挑戦

## 8. 第75回日本体力医学会大会（鹿児島）開催について（徳田大会長）

大会の進捗状況が報告された。

会 期：2020年9月24日(木)～26日(土)  
 会 場：鹿児島大学（共通教育センター、稲盛会館）

## 9. 定款改定に関する件（武政総務委員長）

資料に基づき、シニア会員の新設と役員任期の変更について、その必要性と定款、定款施行細則、役員を選出に関する下記に示される規程の改定内容が報告された。

- 1) シニア会員の新設について、以下の申請要件を満たす会員をシニア会員とする件、これに伴い、定款第3章（会員）第7条（法人の構成員）、定款細則第1章（通則）第1、第2章（会員）第2、3条を以下の下線のように追記、修正する件、および役員任期について、定款第25条（役員任期）と定款細則第4章（理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等）第5条について下線部を追記する旨、提案された。

シニア会員申請要件

- (1) シニア会員申し込み時の年齢が満70歳以上である。  
 (2) 日本体力医学会正会員歴20年以上である。

シニア会員の付帯条項

- (1) シニア会員としての条件を満たす場合でも、本人が正会員の継続を望む場合は適用外とする。  
 (2) 会費年額を5,000円とする。  
 (3) 評議員としての権限（体力医学会の役員等になるための被選挙権、選挙権）を喪失する。  
 (4) 日本体力医学会が発行する機関誌等の受け取りに関しては正会員・名誉会員と同様とする。  
 (5) 学会年次大会参加費等は、大会長に委ねる。  
 シニア会員制度は2018年8月1日より施行するものとする。

---

### 第3章 会員

（法人の構成員）

第7条 この法人の会員は、次の4種とする。

- (1) 正会員 体力医学に関する学識経験を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人  
 (2) 名誉会員 この法人の発展に関して学術上の功績が特に著名な者で、理事会が推薦し社員総会で承認された個人  
(3)シニア会員 名誉会員に準ずる会員で、別に定める要件を満たした会員からの申請により理事会で承認された個人  
(4) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

### 第5章 役員等

（役員任期）

- 第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。  
 2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

---

- 第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第45条に基づき、会員、役員及び評議員の選出、委員会、学術集会等に関する諸規定を設ける。

### 第2章 会員

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正会員 年額 10,000円  
 (2) シニア会員 年額 5,000円  
 (3) 賛助会員 年額 1口以上  
 (1口50,000円)

2. 会費は年度末までにそれぞれ納入しなければならない。  
 3. 正会員、シニア会員ならびに名誉会員は、学術講演会及び機関誌に業績を発表することができ、また、機関誌等の頒布を受けるものとする。  
 4. 賛助会員は、機関誌の頒布を受けるものとする。

第3条 シニア会員の認定は、本人の申請により理事会で行う。

2. シニア会員の認定を受ける正会員は、次のいずれも満たす者とする。  
(1) シニア会員を申し込むときの年齢が満70歳以上であること。  
(2) 日本体力医学会の正会員歴20年以上であること。  
 3. シニア会員の認定を受けた者は、評議員の資格を喪失する。

### 第4章 理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等

第5条 理事候補者、評議員会長候補者及び監事候補者は、別に定める「選挙管理規程」に従い、4年毎に評議員の選挙によって選出する。

2. 理事については、定款の規定により任期満了となる選任2年後の社員総会において、理事再任の承認を得ることにより、在任期間を4年とする。

---

- 2) 役員任期の変更に伴い、役員を選出に関する規程について以下のように追記、修正する旨提案された。

---

役員を選出に関する規程

（目的）

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第21条、第22条及び細則第5条の規程により

役員の選出に関する規程を定める。

(理事・評議員会長・監事の選出)

- 第2条 細則第5条の規程により理事・評議員会長・監事の選挙を同時に行い、理事・評議員会長・監事を選出する。
- 2 選挙管理委員会は投票締切日を定め、評議員に対し少なくとも投票締切日の3週間前までに、被選挙有資格者名簿を、投票方法を明示した文書とともに発送する。
  - 3 理事24名の選出は、無記名で医師免許保有者12名以内及び医師免許非保有者12名以内、各連記の投票による。
  - 4 選挙管理委員会は、監事の陪席のもと、開票結果を確認し、医師免許保有者12名、医師免許非保有者12名の当選者を決定する。
  - 5 評議員会長1名の名前を記入・投票する。なお、理事と評議員会長の兼職は可能である。
  - 6 監事4名の名前を記入・投票する。理事・監事両職に選出された場合、両職は兼職できないため、当事者の意向を尊重し、順次次点者を繰り上げ当選させる。
  - 7 理事・評議員会長・監事の選挙について、定数をまたがって同点のものが出た場合は、監事による抽選とする。
  - 8 選挙結果は速やかに、当選者に知らせる。
  - 9 理事・監事の選挙の当選者を、定款第22条第1項の規定に従い、選挙後開催される社員総会の決議により理事・監事に選任し、理事についてはその2年後の社員総会において再任の決議を行う。
  - 10 次条第2項で選出された理事長候補者は、特に必要がある場合には、理事会の承認を得て、前項の社員総会に理事候補者1名を推薦できる。
- 第3条 理事長・副理事長・常務理事選挙を同時に行う。

- 2 理事に選出された24名を招集し、即日理事長1名、副理事長2名、常務理事1名を順次互選により選出する。なお、副理事長2名のうち、得票順に第1副理事長、第2副理事長とする。
- 3 選挙結果は速やかに社員に通知されなければならない。
- 4 理事長・副理事長・常務理事の選挙の当選者を、定款第22条第2項の規定に従い、理事の選任の行われる社員総会後に開催される理事会の決議により理事長・副理事長・常務理事に選任し、2年後の社員総会後の理事会においてそれぞれに対し再任の決議を行う。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附則

1. この規程は、平成30年8月24日より施行する。

---

## 10. その他

- 1) FAOPS2019 (第9回アジア-オセアニア生理学会大会) の鍋倉淳一大会長より、2019年3月28日~31日に神戸国際会議場で開催されるFAOPS2019についての開催について報告された。本大会の特別トークセッションとして、小平奈緒選手、結城匡啓教授：信州大学を迎えることや、本学会との合同シンポジウムが2つ用意している。また、現在公募中の一般演題(10月2日締切)がある旨、報告された。一般演題について、本学会員にも応募および参加要請があった。
- 2) 国際学術交流奨励賞(国際学会において体力科学領域への貢献度が高い若手研究者により、一層国際的な活躍を奨励するための賞)の受賞式が行われ、16名が受賞した。



## 一般社団法人日本体力医学会 平成30年度社員総会 議事録

日 時：2018年9月8日(土)

午後1時20分～午後2時20分

場 所：福井県民ホール アオッサ8階 A会場

議 長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登, 西平賀昭, 永富良一,  
碓井外幸, 大野 誠, 小野寺昇,  
坂本静男, 下光輝一, 須田和裕,  
武政 徹, 竹森 重, 田中喜代次,  
成田和穂, 前田清司, 宮川俊平,  
和気秀文各理事, 清田 寛監事

出席社員数：184名, 委任状出席2,631名

(議決権個数2,815個)

議事録作成者：鈴木政登

議事に先立ち、下記の項目について報告され、承認された。

- ・ 戎 利光大会長より、挨拶と第73回(福井)大会概要の報告がなされた。
- ・ 正会員総数4,187名の内、委任状提出者2,631名、午後1時15分現在の社員総会出席者184名、正会員総数の過半数2,094名を超えており、社員総会開催が成立し、定款改定のための正会員の2/3の必要議決数2,792名を超えていることが確認された。

### 【審議事項】

#### 1. 平成30年度庶務報告に関する件(武政総務委員長)

##### 1) 会員総数4,225名(2018年7月31日現在)

名誉会員	33名
正会員	4,176名
外国会員	11名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 鶴岡印刷株式会社, 公益財団法人明治安田厚生事業団, 大塚製薬株式会社, 大正製薬株式会社

##### 2) 役員数

評議員	546名
(内) 医師	88名
(内) 非医師	458名
理事	25名
監事	4名

##### 3) 購読数

体力科学	129団体
JPFMS	123団体
JPFMS	6団体

##### 4) 年度内入退会状況

新入会員	297名
退会者	395名
(内) 申込者	164名
自然退会	231名

#### 2. 平成30年度事業報告に関する件

以下のとおり平成30年度事業報告について報告がなされ、承認された。

##### 1) 事業期間

2017年8月1日～2018年7月31日

#### 2) 委員会活動

##### ・ 総務委員会(武政委員長)

###### ◎ 本学会の庶務に関する事項

日本体力医学会シニア会員の新設、それに伴う定款/細則の変更

理事候補, 評議員会長候補及び監事候補の選出等に関わる定款/細則の変更

役員の選出に関する規程の変更

###### ◎ 学会大会長に関する事項

第76回大会(三重)の大会長候補者の検討(未決定)

##### ・ 編集委員会(田中委員長)

###### ◎ 学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS)」

Vol. 6のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 7のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 66のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 67のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

###### ◎ JPFMS掲載論文リストのメール配信

###### ◎ 投稿規定改訂(2017.9.17)

「体力科学」「JPFMS」の掲載料改定

###### ◎ JPFMSオリジナルWebsiteの運用開始(2017.9.28)

Online Firstの掲載

###### ◎ J-STAGE新画面インターフェース切替完了(2017.11.25)

###### ◎ ジャーナルの活性化対策の検討

###### (1) 「特集号」の企画

注目されているホットスポットに焦点を当てた「特集号」を掲載

「体力科学」Vol. 67, No. 2

第1回特集：がん：検診, ケア, 予防, 運動習慣化の意義を考える 7編掲載

「体力科学」Vol. 67, No. 5

第2回特集：エネルギー代謝 6編掲載予定「JPFMS」Vol. 7, No. 4

第1回特集：Aging and Skeletal Muscle Atrophy 4編掲載

※第2回計画中

###### (2) 第73回大会での教育セッションの開催

JPFMSおよび体力科学の編集方針と論文執筆のポイント①

###### ◎ 編集業務における収支改善策の検討

###### (1) 論文掲載料の改定

###### (2) 地方会抄録の掲載料改定案の検討

###### ◎ 編集委員の増員

2名増員(3名新任, 1名退任)

###### ◎ 委員会開催(2017.9.15) 南江堂と打ち合わせ

###### ◎ 投稿規程「論文投稿時のCOIの取り扱い」策定

- (利益相反委員会と共同)
- ◎「プライバシーポリシー」原案作成
  - ・学術委員会 (碓井委員長)
  - ・スポーツ医学研修会実行委員会 (碓井称号委員長)
  - ◎平成30年度 (第29回) スポーツ医学研修会
    - (1) 基礎コース (平成30年6月30～7月1日, 於日本体育大学)
      - 参加者: 41名 (内, 欠席者3名含)
    - ※(2) 応用コース (平成30年8月3～4日, 於日本体育大学)
      - 参加者: 34名 (内, 欠席者4名含)
    - ※修了試験 (受験者: 20名 平成30年8月5日, 於日本体育大学)
  - ・称号委員会 (碓井委員長)
  - 「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」申請時に審査 (委員会) →承認 (理事会) →報告 (総会)
  - ・プロジェクト研究委員会 (須田委員長)
    - 平成28年度まで行っていた日本体力医学会プロジェクト研究の公募は平成29年度から行わないことになった。
    - 平成28年度に採択されたプロジェクト研究が進行中である。
  - ・学会賞選考委員会 (前田委員長)
    - 第31回日本体力医学会賞候補の選考を行った。
  - ・ガイドライン検討委員会 (勝村委員長)
    - 特に報告事項はない。
  - ・財務委員会 (宮川委員長)
    - 平成31年度予算案の作成と予算の適切な執行の確認。
  - ・評議員選考委員会 (大野委員長)
    - 評議員候補者申請書をもとに平成30年度の評議員選考を行い, 理事会, 評議員会兼社員総会に諮った。
  - ・渉外委員会 (永富委員長)
  - ◎国際交流事業
    - (1) 第72回日本体力医学会大会 (愛媛) における国際交流事業
      - 日蘭スポーツ科学交流事業
      - 平成29年9月17日 9:00-10:30
      - 国際交流シンポジウム「スポーツ障害予防の最前線」
      - 座長 永富良一 (東北大学), 篠原純司 (九州共立大学)
      - シンポジスト: 福典之 (順天堂大学), 下河内洋平 (大阪体育大学), DirkJan Veeger (デルフト工科大学/アムステルダム自由大学)
    - (2) ECSS 2018 Dublin 2018.7.4-7
      - ECSS-JSPFSM Exchange Symposium “Skeletal muscle as an endocrine organ -20 years of myokines”
      - シンポジスト: 古市泰郎 (首都大学東京), 相澤勝治 (専修大学), Bente Pedersen (University of Copenhagen)
    - (3) 国際学術交流奨励賞
  - ◎国内関連学術団体との交流・連携
    - (1) 脳心血管病予防に関する包括的管理チャー

- トの改訂
- (2) 日本生理学会との連携
  - 日本生理学会大会 (高松市2018年3月28～30日)
  - 日本生理学会・体力医学会合同シンポジウム「情動や行動を支える中枢性循環調節機構」
  - シンポジスト: 和気秀文 (順天堂大学), 浅原亮太 (広島大学), 山中航 (順天堂大学)
- (3) 日本抗加齢医学会との連携
  - 第18回日本抗加齢医学会総会 (大阪2018/5/25-27)
  - 日本体力医学会共催シンポジウム2018「骨格筋を中心とした臓器・組織の連関について」
  - シンポジスト: 石井好二郎 (同志社大学), 勝川史憲 (慶応大学), 林直亨 (東京工業大学), 家光素行 (立命館大学), 渡邊裕也 (同志社大学)
- ・FAOPS2019運営委員会 (和気委員長)
  - ◎日本体力医学会会員への広報活動
    - <https://www.nips.ac.jp/faops2019/index.html>
  - ◎日本生理学会 (日本体力医学会合同シンポジウムの企画)
    - テーマ: Cutting-edge research topics on skeletal muscle plasticity in health and diseases
    - 座長: Katsumasa Goto (Toyoashi SOZO University, Japan), Gordon S. Lynch (The University of Melbourne, Australia)
    - 演者: Nobuharu L Fujii (Tokyo Metropolitan University, Japan), Shuichi Machida (Juntendo University, Japan), Gordon S. Lynch (The University of Melbourne, Australia) (他1名予定)
  - ◎日本生理学会 (日本体力医学会共催特別講演の企画)
    - テーマ: 「世界の頂点を極めるスポーツ科学」
    - 演者: 小平奈緒 (社会医療法人財団慈泉会相澤病院スポーツ障害予防治療センター, 2018年平昌オリンピックスピードスケート金メダリスト), 結城匡啓 (信州大学教育学部, 日本スケート連盟ナショナルコーチ)
- ・倫理委員会 (成田委員長)
  - 倫理審査委員会が設置されていない機関に所属する会員からの研究倫理審査の受付を開始
- ・広報委員会 (須永委員長)
  - 学会ホームページの管理, 運営
- ・男女共同参画推進委員会 (須田委員長)
  - 男女共同参画に関する情報収集に努めた。
- ・利益相反委員会 (永富委員長)
  - ◎体力科学, JPFMSMの投稿規定におけるCOI開示項目を編集委員会と協力して検討した。
  - ◎日本体力医学会大会におけるCOI開示の方法について情報収集した。
  - ◎上記計画を遂行するため, メール会議を数回開催した。

- ・全国地方会実行委員会（竹森委員長）
- ◎非会員の地方会発表抄録を体力科学誌に掲載する際の掲載料の扱いについての意見の取りまとめ
- ◎北九州地方会と南九州地方会の新設

【北九州地方会】

（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県）

地方会代表：熊谷秋三

事務局長：増本賢治

事務局所在地：

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1

九州大学人間環境学研究院

TEL：092-583-7855, FAX：092-582-7855

E-mail：masumoto@ihs.kyushu-u.ac.jp

【南九州地方会】

（熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

地方会代表：徳田修司

事務局長：與谷謙吾

事務局所在地：

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学体育学部スポーツ生命科学系

TEL：0994-46-4934

E-mail：yotani@nifs-k.ac.jp

◎全国地方会実行委員の任命

山津幸司（北九州地方会）、徳田修司（南九州地方会）

3) 第72回日本体力医学会大会（愛媛）の実施

大会長：三浦裕正（愛媛大学医学部附属病院院長、愛媛大学医学部整形外科）

会期：2017年9月16日（土）～18日（月）

会場：松山大学文京キャンパス

テーマ：愛顔でつなぐ体力医学

～いで湯と城と文学の街で再考する～

4) 平成31年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®

称号認定者（確井称号委員長）

以下のとおり、平成31年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者が報告された。

・新規 5名（第28回研修会）

市原敬司	江原恭介	落合 香
北村拓也	星野太佑	

・新規 6名（第29回研修会）

小関信行	齋藤英明	瀬川真衣
西村典芳	藤野英己	丸 和史

・継続 23名

石井宏明	石垣華奈	石山育朗
伊藤克則	伊藤清二	大河原仁美
太田宣康	大野政人	上出杏里
國岡義広	清水智美	関 健
高橋清美	田村由馬	夏井裕明
畑山元政	原 哲夫	藤野雅広
藤原敬且	松谷昌典	三橋敏武
山口秀明	吉村敏子	

・終身 5名

伊佐地 隆	笠師久美子	小山 薫
重川敬三	山本好弘	

3. 平成30年度会計（決算）に関する件

（宮川委員長、鈴木理事長）

以下のとおり、平成30年度会計（決算）についての報告がなされた。

収入の部 会費収入決算額は41,020,672円となった。論文掲載料等収入予算額は1,200,000円だったが、決算額は倍以上の2,695,536円となった。投稿論文数が増加したことによる。平成30年度収入決算額は84,879,239円となり、平成30年度収入予算額より3,608,239円増額となった。

支出の部 称号運営費が増加しているが、学会支援機構の平成29年度業務委託費の請求漏れがあったため、この額を平成30年度決算に含め、今回2年度分の請求となったことによる旨、報告された。また、論文投稿数が増加したことにより投稿管理費が増加している件が加えられた。平成30年度支出決算額は85,633,362円となった。

\*平成30年度収入決算額84,879,239円、支出決算額85,633,362円であり、実質754,123円の不足（赤字）に留まった。

平成29年度は別途積立金取崩収入を加えることによって収支バランスがとれたが、平成30年度の収支決算は別途積立金を取り崩さずに、754,123円の赤字に留めることが出来た。また、貸借対照表の正味財産（日本体力医学会の内部留保財産＝貯蓄額）が前年度は93,827,401円であったが、当年度は94,308,563円となり、481,162円の増加となった。これは、プロジェクト研究廃止や鶴岡印刷による学会誌の印刷費削減協力などによる効果である旨、報告された。

当年度収支としては754,123円の赤字となった旨、報告があった。本決算については清田監事より、公認会計士によりチェックが行われた事が併せて報告があり、引き続き、監査報告が行われ、審議の結果、本社員総会において承認された。

4. 平成31年度事業計画に関する件（武政総務委員長）

以下のとおり平成31年度事業計画についての報告がなされた。

1) 事業期間

2018年8月1日～2019年7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会（武政委員長）

◎第76回三重大会の大会長の推薦

◎学会総務に関わる規則の見直し

・編集委員会（田中委員長）

◎ジャーナルの発行、公開

JPFMSM：Vol. 7-4～8-3（合計6号）

体力科学：Vol. 67-4～68-3（合計6号）

◎掲載論文数を増やす

[JPFMSM] [体力科学]：特集を掲載する。

◎学会誌投稿におけるCOIマネジメントの策定と実施

◎「ACSM運動処方指針（原著第10版）」の翻訳本の出版

◎学術刊行物の編集



- ・学術委員会（碓井委員長）
- ・スポーツ医学研修会実行委員会（碓井称号委員長）  
第30回スポーツ医学研修会（於日体大）の実施（学会HP・体力科学に案内を掲載）  
テキストの改定版発行
- ・称号委員会（碓井委員長）  
日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を  
スポーツ医学研修会後の申請により実施
- ・プロジェクト研究委員会（須田委員長）  
研究成果の第73回日本体力医学会大会（福井）で  
の報告
- ・ガイドライン検討委員会（勝村委員長）  
「少子高齢化」が進行し大きな社会問題となっ  
ているわが国における、「健康寿命の延伸」を目指  
した活動なども視野に入れたガイドラインの作成  
などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆ  
く。また、東京オリンピック2020を視野に入れた、  
競技スポーツにおける安全対策についても検討し  
てゆく。
- ・財務委員会（宮川委員長）  
平成32年度予算案の作成
- ・評議員選考委員会（大野委員長）  
大会前の機関誌に従前通り、評議員推薦のため  
のレジメを入れ、平成28年度に改定された評議員申  
請要項に対する周知をはかり、多くの会員に評議  
員推薦を促し評議員数の増加を目指す。
- ・渉外委員会（永富委員長）

◎国際交流事業

- (1) 第73回日本体力医学会大会（福井）にお  
ける国際交流事業
- (2) 第74回日本体力医学会大会（つくば）に  
おける国際交流事業
  1. 国際シンポジウム
  2. 国際セッション（ECSS 2018 Young In-  
vestigators Award Winners）
- (3) ECSS 2019 Prague 2019.7.3-6  
ECSS-JSPFSM Exchange Symposium “Lac-  
tate/Pyruvate Metabolism in Skeletal Mus-  
cle: Energy Substrates and Beyond”  
シンポジスト：北岡 祐（神奈川大学）、星野  
太佑（電気通信大学）、Henriette Pilegaard  
（University of Copenhagen）
- (4) 国際学術交流奨励賞

◎国内関連学術団体との交流・連携

- (1) 脳心血管病予防に関する包括的管理チャ  
ートの改訂
- (2) 東京オリンピック・パラリンピック関連  
学会への協力

◎日本体力医学会の活動の国内外に対する見える化  
広報委員会と連携

- ・FAOPS2019運営委員会（和気委員長）  
第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年  
大会（FAOPS2019）を後援し、日本生理学会と合  
同シンポジウムを開催する
- ・倫理委員会（成田委員長）
- ◎研究倫理審査事業の実施

◎学会発表、論文発表における倫理規定遵守の推  
進と監視

- ・広報委員会（須永委員長）  
ホームページの充実、その他本学会に関わる事項  
の広報活動
- ・男女共同参画推進委員会（須田委員長）  
男女共同参画に関する情報収集に努める
- ・利益相反委員会（永富委員長）  
◎体力科学、JPFISMの投稿規定におけるCOI開  
示項目を編集委員会と協力して検討  
◎日本体力医学会大会におけるCOI開示の方法の  
検討  
◎策定から4年が経過した「利益相反（COI）に  
関する運用指針」の加筆、修正の必要性を検討  
上記、計画を遂行するため、メール会議に加え、  
面会会議を年度中に最低1回開催する
- ・全国地方会実行委員会（竹森委員長）  
◎学会本部と地方会間の連絡と対応すべき問題の  
吸い上げ  
◎低会員密度地域（特に地方会空白地域）の体力  
医科学活動（大会開催を含む）支援の調整

5. 平成31年度会計報告（予算）に関する件（宮川委員長）

以下のとおり、平成31年度会計報告（予算）につい  
ての報告がなされた。

収入の部：会費収入において、シニア会員の新設を  
想定し70歳以上、会員歴20年以上を満た  
す正会員115名を想定し収入として計上し  
ている。この他は前年度と比べ特に差異  
はなく、平成31年度予算案として収入は  
79,154,000円、前年度繰越金が70,434,395円  
となっており、合計149,588,395円が収入合  
計となる見込みである旨、報告された。

支出の部：各種委員会からの事業計画を基に計上し、  
前年度と比べ特に差異はなく、平成31年度  
予算案として支出は79,539,852円、次年度  
繰越金が70,048,543円となっており、合計  
149,588,395円が支出合計となる見込みであ  
る旨、報告された。

当年度収支差額は、385,852円の赤字の見込みである  
旨、報告され、審議の結果、本社員総会において承認  
された。

6. 評議員推薦に関する件（下光評議員会長）

平成30年度評議員推薦に関して、評議員選考委員  
会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果16名  
の候補者が評議員資格を有するとの報告に基づき、評  
議員会にて承認された旨、報告された。

新評議員（16名）

薄井澄誉子	笠次良爾	蕪木智子
賀屋光晴	菊池直樹	近藤浩代
坂本将基	佐藤幸治	芝口翼
膳法亜沙子	仲立貴	中島早苗
西脇雅人	林容市	藤野雅広
向本敬洋		

## 7. 第74回日本体力医学会大会（茨城）開催について （田中喜代次第74回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：田中喜代次（筑波大学体育系大学院人間総合科学研究科教授）

会 期：2019年9月19日（木）～21日（土）

会 場：つくば国際会議場

テーマ：元気な人と社会をはぐくむスポーツ医科学の挑戦

## 8. 第75回日本体力医学会大会（鹿児島）開催について （徳田大会長）

大会の進捗状況が報告された。

会 期：2020年9月24日（木）～26日（土）

会 場：鹿児島大学（共通教育センター、稲盛会館）

## 9. 定款改定に関する件（武政総務委員長）

資料に基づき、シニア会員の新設と役員任期の変更について、その必要性と定款、定款施行細則、役員を選出に関する下記に示される規程の改定内容が報告され、本社員総会において承認された。

- シニア会員の新設について、以下の申請要件を満たす会員をシニア会員とする件、これに伴い、定款第3章（会員）第7条（法人の構成員）、定款細則第1章（通則）第1、第2章（会員）第2、3条を以下の下線のように追記、修正する件、および役員任期について、定款第25条（役員任期）と定款細則第4章（理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等）第5条について下線部を追記する旨、提案され、本社員総会において承認された。

シニア会員申請要件

- シニア会員申し込み時の年齢が満70歳以上である。
- 日本体力医学会正会員歴20年以上である。

シニア会員の付帯条項

- シニア会員としての条件を満たす場合でも、本人が正会員の継続を望む場合は適用外とする。
  - 会費年額を5,000円とする。
  - 評議員としての権限（体力医学会の役員等になるための被選挙権、選挙権）を喪失する。
  - 日本体力医学会が発行する機関誌等の受け取りに関しては正会員・名誉会員と同様とする。
  - 学会年次大会参加費等は、大会長に委ねる。
- シニア会員制度は2018年8月1日より施行するものとする。

### 第3章 会員

（法人の構成員）

第7条 この法人の会員は、次の4種とする。

- 正会員 体力医学に関する学識経験を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人
- 名誉会員 この法人の発展に関して学術上の功績が特に著名な者で、理事会が推薦し社員総会で承認された個人
- シニア会員 名誉会員に準ずる会員で、

別に定める要件を満たした会員からの申請により理事会で承認された個人

- 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

### 第5章 役員等

（役員任期）

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

- 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

---

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第45条に基づき、会員、役員及び評議員の選出、委員会、学術集會等に関する諸規定を設ける。

### 第2章 会員

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| (1) 正会員   | 年額 10,000円             |
| (2) シニア会員 | 年額 5,000円              |
| (3) 賛助会員  | 年額 1口以上<br>(1口50,000円) |

- 会費は年度末までにそれぞれ納入しなければならない。
- 正会員、シニア会員ならびに名誉会員は、学術講演会及び機関誌に業績を発表することができ、また、機関誌等の頒布を受けられるものとする。
- 賛助会員は、機関誌の頒布を受けられるものとする。

第3条 シニア会員の認定は、本人の申請により理事会で行う。

- シニア会員の認定を受ける正会員は、次のいずれも満たす者とする。

- シニア会員を申し込むときの年齢が満70歳以上であること。
- 日本体力医学会の正会員歴20年以上であること。

- シニア会員の認定を受けた者は、評議員の資格を喪失する。

### 第4章 理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等

第5条 理事候補者、評議員会長候補者及び監事候補者は、別に定める「選挙管理規程」に従い、4年毎に評議員の選挙によって選出する。

- 理事については、定款の規定により任期満了となる選任2年後の社員総会において、理事再任の承認を得ることにより、在任期間を4年とする。

---

- 役員任期の変更に伴い、役員を選出に関する規程について以下のように追記、修正する旨提案され、



本社員総会において承認された。

---

#### 役員を選出に関する規程

(目的)

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第21条、第22条及び細則第5条の規程により役員を選出に関する規程を定める。

(理事・評議員会長・監事の選出)

第2条 細則第5条の規程により理事・評議員会長・監事の選挙を同時に行い、理事・評議員会長・監事を選出する。

2 選挙管理委員会は投票締切日を定め、評議員に対し少なくとも投票締切日の3週間前までに、被選挙有資格者名簿を、投票方法を明示した文書とともに発送する。

3 理事24名の選出は、無記名で医師免許保有者12名以内及び医師免許非保有者12名以内、各連記の投票による。

4 選挙管理委員会は、監事の陪席のもと、開票結果を確認し、医師免許保有者12名、医師免許非保有者12名の当選者を決定する。

5 評議員会長1名の名前を記入・投票する。なお、理事と評議員会長の兼職は可能である。

6 監事4名の名前を記入・投票する。理事・監事両職に選出された場合、両職は兼職できないため、当事者の意向を尊重し、順次次点者を繰り上げ当選させる。

7 理事・評議員会長・監事の選挙について、定数をまたがって同点のものが出た場合は、監事による抽選とする。

8 選挙結果は速やかに、当選者に知らせる。

9 理事・監事の選挙の当選者を、定款第22条第1項の規定に従い、選挙後開催される社員総会の決議により理事・監事に選任し、理事についてはその2年後の社員総会において再任の決議を行う。

10 次条第2項で選出された理事長候補者は、特に必要がある場合には、理事会の承認を得て、前項の社員総会に理事候補

者1名を推薦できる。

第3条 理事長・副理事長・常務理事選挙を同時に行う。

2 理事に選出された24名を招集し、即日理事長1名、副理事長2名、常務理事1名を順次互選により選出する。なお、副理事長2名のうち、得票順に第1副理事長、第2副理事長とする。

3 選挙結果は速やかに社員に通知されなければならない。

4 理事長・副理事長・常務理事の選挙の当選者を、定款第22条第2項の規定に従い、理事の選任の行われる社員総会後に開催される理事会の決議により理事長・副理事長・常務理事に選任し、2年後の社員総会後の理事会においてそれぞれに対し再任の決議を行う。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

1. この規程は、平成30年8月24日より施行する。

---

#### 10. その他

1) FAOPS2019 (第9回アジア-オセアニア生理学会大会)の鍋倉淳一大会長より、2019年3月28日~31日に神戸国際会議場で開催されるFAOPS2019についての開催について報告された。本大会の特別トークセッションとして、小平奈緒選手、結城匡啓教授：信州大学を迎えることや、本学会との合同シンポジウムが2つ用意している。また、現在公募中の一般演題(10月2日締切)がある旨、報告された。一般演題について、本学会員にも応募および参加要請があった。

2) 国際学術交流奨励賞(国際学会において体力科学領域への貢献度が高い若手研究者により、一層国際的な活躍を奨励するための賞)の受賞式が行われ、16名が受賞した。

## 第30回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

平成30年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

### 1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、各教室および中央測定室など

### 2. 日時および研修内容

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2019年6月29日(土)

9:00~10:40	オリエンテーション、有疾患に対する運動療法の考え方（含COPD, 腎症）
10:40~10:50	休 憩
10:50~11:50	高次脳機能と運動 - 認知症予防のための運動など-
11:50~12:50	筋骨格系組織と運動 - 寝たきり予防のための運動など-
12:50~13:50	昼 食・休 憩
13:50~14:50	循環と運動
14:50~15:50	幼児期および成長期における運動指導について
15:50~16:00	休 憩
16:00~17:00	運動, 栄養, 生活習慣病予防について

懇親会（会費3000円, 参加自由）

2019年6月30日(日)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:30~10:40	休 憩
10:40~12:10	運動器疾患に対する運動療法
12:10~13:10	休 憩
13:10~14:40	心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点
14:40~14:50	休 憩
14:50~16:20	メタボリックシンドロームに対する運動療法

## (II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習も行います。

2019年8月2日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習 (a) (トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習 (b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2019年8月3日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際 (前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習 (テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2019年8月4日(日) 10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2019年4月申請予定)。ま

た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（2019年4月申請予定）。

## 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にして下さい。

## 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F

一般社団法人 学会支援機構内

日本体力医学会スポーツ医学研修会 係

電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012

E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

---

## 第30回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけて下さい。）

第30回 基礎コース

第30回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ E-Mail： \_\_\_\_\_



# 第30回 日本医学会総会 2019 中部

医学と医療の深化と広がり ～健康長寿社会の実現をめざして～

## 学術集会

2019年4月27日(土)～4月29日(月・祝)

名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウインクあいち

## 学術展示

2019年4月26日(金)～4月29日(月・祝)

名古屋国際会議場、ポートメッセなごや

会頭

**齋藤 英彦**  
名古屋大学名誉教授

副会頭

**松尾 清一** 名古屋大学総長  
**郡 健二郎** 名古屋市立大学長  
**駒田 美弘** 三重大学長  
**星長 清隆** 藤田医科大学長

**柵木 充明** 愛知県医師会長  
**森脇 久隆** 岐阜大学長  
**今野 弘之** 浜松医科大学長  
**佐藤 啓二** 愛知医科大学長

準備  
委員長

**高橋 雅英** 名古屋大学理事

## 事前参加登録

2019年4月5日(金)正午まで

参加登録区分 (区分は、登録時の身分とする)	事前参加登録 2018年2月1日(木)正午～2019年4月5日(金)正午まで	当日参加登録 2019年4月27日(土)～4月29日(月・祝)
医師・歯科医師・研究者	<b>30,000円</b>	<b>35,000円</b>

## 各種研修制度との連携

New

### 1. 日本専門医機構専門医共通講習

受講内容に応じて、下記の専門医共通講習の単位取得が可能です。

- ① 感染対策(必修)：2単位
- ② 医療安全(必修)：2単位
- ③ 医療倫理(必修)：2単位

### 2. 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修単位

日本医学会総会に出席することにより応用研修の「関連する他の研修会」として2単位が付与されます。

### 3. 産業医・健康スポーツ医研修単位

事前申込み(定員制・先着順) (別途5,000円)

### 4. 日本医学会分科会(一部)の研修単位

分科会の認定する専門医制度等について、分科会規定に基づき単位取得が可能です。

### 5. 日本医師会生涯教育制度学習単位

受講内容に応じて日本医師会生涯教育制度の単位およびカリキュラムコードの取得が可能です。

事前参加登録完了後に産業医セッション受講申込専用サイトをご案内します

事前参加登録はこちらから ▶ <http://isoukai2019.jp/>



## 同時期開催

### 第116回日本内科学会総会・講演会

テーマ:新時代の内科学の創造 ～分化と統合、そして融合へ～

会長 **長谷川 好規** 名古屋大学大学院医学系研究科  
病態内科学講座 呼吸器内科学 教授

2019年

4月26日(金)～4月28日(日)

ポートメッセなごや

「第30回日本医学会総会 2019 中部」参加により総合内科専門医認定更新単位：10単位、認定内科医認定更新単位：5単位が取得可能です。

## ■主 催:日本医学会

■主務機関:名古屋大学医学部、名古屋市立大学医学部、藤田医科大学、愛知医科大学、岐阜大学医学部、三重大学医学部、浜松医科大学、金沢大学医学部、金沢医科大学、福井大学医学部、富山大学医学部、信州大学医学部、愛知県医師会、岐阜県医師会、三重県医師会、静岡県医師会、石川県医師会、福井県医師会、富山県医師会、長野県医師会

■後 援:日本医師会、日本学術会議、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、石川県、福井県、富山県、長野県、名古屋市、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、中日新聞社、NHK、CBCテレビ、東海テレビ放送株式会社、メ〜テレ、中京テレビ放送株式会社、テレビ愛知株式会社



# 編 集 後 記

「体力科学」第68巻1号をお届けいたします。本号は昨年の学会大会における大会指定演題、原著論文3編、資料1編、教育講座2編、JPFISM, Vol. 8, No. 1 (2019)の抄録などから構成されています。研究対象は多岐にわたり、体力科学の名に相応しい論文が掲載されております。

昨年の体力科学第67巻には総本数35本（総説16, 原著16, 資料2, 教育講座1）が、また2012年創刊のJPFISM, Vol. 7には総本数36本（Review 3, Regular Article 23, Short Review 5, Short Communication 5）の論文が掲載されました。ご投稿を頂いた著者の皆様、ならびに査読をご担当いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。しかし、投稿数はまだまだ多いとはいえない状況ですので、会員の皆様には引き続き、体力科学とJPFISMへのご投稿をお願いできればと存じます。また、論文ご執筆の際はぜひともJPFISMの論文を引用していただき、JPFISMのプレゼンス向上にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨今、AIやビッグデータといったキーワードがメディアを賑わせています。その背景には、人間が行っている

様々な仕事を機械が行うようになり、人間の仕事が奪われてしまうのでは、という危機感があります。すでに、スポーツ、体育および医学などの領域では各種AIに大量のデータを学習させ、その成果を利用しようという試みと実用化が進んでいます。今後は、進化するテクノロジーの有効活用のために、人間の「特徴」や「らしさ」を改めて考え、伸ばしていく方略を練ることがより重要になると思われます。体力科学分野でも既存の研究方法の改善や新たな視点に基づく研究開発が進み、研究はますます活性化するものと期待されます。

本年は平成が終わり、新しい元号へと変わる節目の年となります。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック前年でもあり、体力・スポーツ科学に関する国内最大規模の日本体力医学会への注目度はますます高まっていくと思われます。会員の皆様の研究が一層発展されることをご祈念申し上げます。

麓 正樹

## The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.68, No.1

### 体 力 科 学 第 68 巻 第 1 号

平成 31 年 1 月 25 日 印 刷

平成 31 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

田 中 喜 代 次  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL : 03-5981-6015 FAX : 03-5981-6012  
E-mail : jspfsm@asas-mail.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL : 0235-22-3120 FAX : 0235-22-3120  
E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社